



所長あいさつ

「総合的な学習の時間」が導入される前年、モデルづくりに参加し、その授業者になりました。チームの中に家庭科の教諭で授業や学級経営に定評があるH先輩がいました。私は、理科の教科指導で培った教材研究や生徒の思考の流れを基に、自負をもって課題解決を中心とする活動を提案したのですが、発問計画を聞いていたH先輩が、突然、「子どもはそうは言わない。」とピシヤリと一言。確信に満ちた声に私は黙り込み、案は白紙に。その後の提案にも再三のダメだし。『だったら自分でやってみろ』と言いたくなるぐらい追い込まれ、八方ふさがりの中で何を思ったのか、私は生徒たちに授業づくりを相談したのです。生徒の指摘や回答は明快でした。自分の認識不足と自分本位の考え方を思い知らされ、根本的に練り直しました。その改案にH先輩は「おもしろそうだね。」と言い、「私だったら…」といろいろな工夫を語ってくれました。これを機に、思いついたことや試したことについて、子どもに聞いてみるのが私のスタイルとなりました。

授業を公開してから三月ほどたったある日、用事があった家庭科準備室を訪ねると、机の前の壁一面に、担任している生徒の一、二歳の頃の写真が貼り付けてありました。私が驚いて眺めていると、被服室から戻ったH先輩が、「生徒には内緒で、保護者をお願いして貸してもらっているのよ。だって、嫌になることもあるでしょう。そんな時、写真の中の無邪気な笑顔を見ているとがんばれるのよ。」と少し照れ気味に微笑みました。

『この人がここまでして…』という思いの中、子どもや保護者がH先輩を慕うことへの納得と、「子どもと本気で向き合うこと」の凄みを感じた瞬間でした。

H先輩が在職中に故人となられて八年。判断を迷った時、「ちゃんとしてるね。」というあの声が聞きたくなることがあります。気負わず、誠実に『ちゃんと』子どもに寄り添いたいと思う日々です。

服務規律の厳正確保

- 1 夏休みの子どもや高齢者への危険予測を再確認し事故防止に努めましょう。
- 2 盛夏の夏バテ・寝不足などによる事故防止に努めましょう。

☆ ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を
7月・8月はワークライフバランス推進月間です。

- 趣旨
仕事と生活が両立しにくい現実を打破するために、働き方を含めた生活スタイルを変革する運動について、政府を挙げて展開するものです。
- 目標
国民一人一人がやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責務を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会



- 国の役割（制度的枠組みの構築・環境整備等）
- 職場の役割（働き方の改革への取組：定時退校日・部活動休養日の設定など）

夏季休業中における学習の充実に向けて

長い夏休み、児童生徒が健康で安全な生活を送るとともに、学習における自身の目的や課題、興味関心を基に、計画的かつ継続的な学習に取り組めるよう具体的な指導をお願いします。



1 目的意識をもたせる指導

- 作文や自由研究、図画作品など長期の休みを活用し、じっくりと取り組むことのよさを理解させる。
- 1学期の学習内容を振り返らせ、理解できていることと理解が不十分なところを考えさせ、自分にあった学習計画を立てさせ、継続的に取り組ませる。

2 定期的な見届けと賞賛、計画の修正への助言

- 定期的一人一人の状況を確認するとともに、賞賛し、必要に応じて計画の修正等助言を与え、意欲の継続を図る。
- 手本となるような実践や取組を紹介し、児童生徒が自分で工夫改善が図れるように支援や援助を行う。

9月1日の始業式、元気に登校し、輝く瞳で友達や先生に、夏休みの思い出を語る児童生徒の姿を期待しています。先生方の素敵な声かけをよろしくお願い致します。

夏休みに向けた生徒指導

夏季休業日及びその前後の時期は、児童生徒が様々な体験活動を通して心身共に大きく成長する時期であるとともに、予期しない問題行動等が発生する時期でもあります。夏季休業の意義を児童生徒に十分理解させ、保護者や地域の方々にも協力を求め、一人一人が安全で、充実した生活を送ることができるよう、次の事項に留意した指導等をお願いします。

- ☆ いじめ・家出・飲酒・喫煙・薬物乱用・火遊び等の問題行動を踏まえた命の大切さを強調した指導
- ☆ スマートフォン・携帯電話・インターネットに接続できるゲーム機等の利用における家庭内ルールの取り決め、フィルタリングの設定等の指導
- ☆ 不登校、いじめ等の生徒指導上の課題を抱えている児童生徒への夏季休業中を利用した積極的な生徒指導

※ 夏季休業日は児童生徒が普段できない活動等を家庭や地域で行いますが、その分、教師の関わりが薄くなりがちです。



したがって、夏季休業日を個別に語り込む絶好の機会と捉え、特に気になる子への計画的な関わりをお願いします。

夏休みに向けた安全指導

悲しい事故に子どもたちが遭わないために！

- 1 交通事故防止
交通事故0月間強調期間におけるスローガン
 - 幼児・児童の道路への飛び出し防止
～必ず止まって確認、みぎ・ひだり・みぎ～
 - 自転車運転のルール遵守とマナー向上
～ヘルメットをかぶろう～
- 2 水難事故防止
水難事故防止強調期間におけるスローガン
「水に親しみながら3M運動
みんなで めざそう 水の事故ゼロ」
 - 安全な遊泳場所の確認や天候の変化への注意
- 3 熱中症防止
 - 換気とこまめの水分補給・帽子の着用

学校安全教室（防犯教室）の開催

- 日時 平成29年8月2日（水）
- 場所 枕崎市立枕崎小学校
- 内容 不審者対策に係る講義及び実技
- 講師 県教育委員会、鹿児島総合警備保障株式会社安全サポートチーム

地域にある文化財の活用を!!

学校では、子どもたちが生まれ育った地域に愛着をもつとともに、地域を誇りに思う教育の推進に、様々な地域素材を活用した教育活動が展開されていることと思います。それらの中から、とりわけ地域にある文化財を活用してみませんか。

南薩地区には、国・県・市指定の文化財が多数あります。しかし、自分たちの身近にどんな文化財があるか知らない子どもたちが多いのではないのでしょうか。そこで、まず、先生方にフィールドワーク等（夏季休業中の研修等に位置付けるなど）を通して、地域の文化財を知っていただきたいと思います。

県指定文化財紹介（平成29年4月21日告示）

- 金山水車（轟製錬所）跡（南九州市）
（かねやますいしゃ（とどろきせいれんじょ）あと）
特徴：明治末から昭和初期にかけて稼働した鉱山関係の製錬所跡で、鉱石から金・銀を製錬していた。赤石鉱山から金山水車（轟製錬所）跡まで約8km 離れているが、水車動力に適した自然地形に着目し、この地に建てられた。岩盤を手彫りで数メートルの深さまで掘削した水車坑や排水溝は当時の技術の高さを示す。自然地形や伝統技術を巧みに利用した施設群であり、貴重な産業遺産である。
- 火之神岬町大迫の海蝕双橋（枕崎市）
（ひのかみささきちょうおおさこのかいしよくそうきょう）



特徴：この海蝕双橋は、今から数百万年前の南薩層群の凝灰岩が、主に波浪による浸食作用によって形作られた。高さ約10メートル、幅約12メートル、北及び南の洞門とも高さ約6メートルであり、その形状は、凝灰岩の割れ目に、嵐や台風などによる幾度もの激しい波浪の打撃によって穴が拡大し橋状になったものである。このような海蝕による天然の双橋は、日本唯一の貴重な自然造形物であり、地質鉱物の学術上貴重である。



地区人権教育授業実践研修会

6月20日（火）、指宿市立魚見小学校において、地区人権教育授業実践研修会を開催しました。指宿市内の小・中・高等学校の人権同和教育担当者が集まり、魚見小6年の井之上大祐教諭の社会科の提案授業の授業研究を中心に、今年度の県や地区の人権同和教育



の施策や推進充実に向けた取組の実践、各学校の人権同和教育推進上の課題の共有と課題解決に向け研修を深めました。

参加された先生方からは、「改めて人権教育を推進する重要性を認識できた。今後も学校の実態に応じた推進のあり方について研修を深めていきたい。」という感想も聞かれました。

今後も児童生徒の人権を守り、自尊感情や自己有用感を育む人権同和教育の推進に努めてまいります。

特別支援教育学校間連携コーディネーターの連携

特別な支援が必要な児童生徒に対する就学前から卒業までの切れ目のない支援の充実を図る目的で、学校間連携コーディネーターを配置し、幼稚園から高等学校までの学校間における計画的・継続的な支援の充実を目指します。「移行支援シート」の活用の仕方から学校間の引継ぎ等、相談等に対応いたします。相談等の希望があれば、各市教育委員会に連絡をお願いします。

【寺園 典人 コーディネーターの略歴】

- ・ 県立武岡台養護学校 教諭
- ・ 県教育庁学校教育課（現 義務教育課）指導主事
- ・ 吹上町立（現 日置市立）伊作小学校 校長
- ・ 県教育庁学校教育課特殊教育係長
- ・ 県立大島養護学校 校長
- ・ 県立鹿児島養護学校 校長